

県政最前線

これからのわかやまの医療

いむか
問 医務課 ☎073-441-2600 FAX073-424-0425

住み慣れた地域で誰もが安全で質の高い医療を受けられることは、人々の安心な暮らしに欠かすことのできないものです。そのために県では、医療を支えるさまざまな医療人材の確保や、医療を適切に提供するための体制づくりに取り組んでいます。



看護人材の確保

これまで、県でさまざまな医師確保対策に取り組んできたことで、地域の格差や診療科の偏在は徐々に増加しています。一方で、患者・医師・地域社会をつなぐ「橋渡し」役となる看護職※は深刻な人手不足に直面しています。さらに近年は、医療だけでなく介護や教育などの現場でも看護職が必要とされ、看護職の重要性はますます高まっています。

主な取組

看護職になりたい人を増やす

看護の仕事に興味を持ってもらうため、こども向けの出前講座や実際の仕事体験ができるイベントを開催

地域で働く人を増やす

・看護職をめざす学生に返済免除付きの修学資金を貸与
【貸与額：月額2～5万円】

・離職者向けに最新の技術と知識を習得できる研修を行い、再就職を支援

・専用サイトや専門機関で地元就職やキャリアアップをサポート

看護職の有効求人倍率
(2023年度)

県 **5.43**倍
全国 **2.22**倍

数字が大きいほど人手不足

出典：(公社)日本看護協会「ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人・就職に関する分析報告書」

※保健師、助産師、看護師、准看護師の総称

ぜひご利用ください

わかナビ

看護職のためのポータルサイトで、学校選びや就職、キャリアアップのことや、和歌山で働く魅力の紹介などさまざまな情報を発信しています。



和歌山県ナースセンター

看護職の確保と育成のために(公社)和歌山県看護協会が県から指定を受けて運営している機関で、求人紹介や相談対応、復職支援を行っています。

☎073-483-0234(直通)
073-483-1005

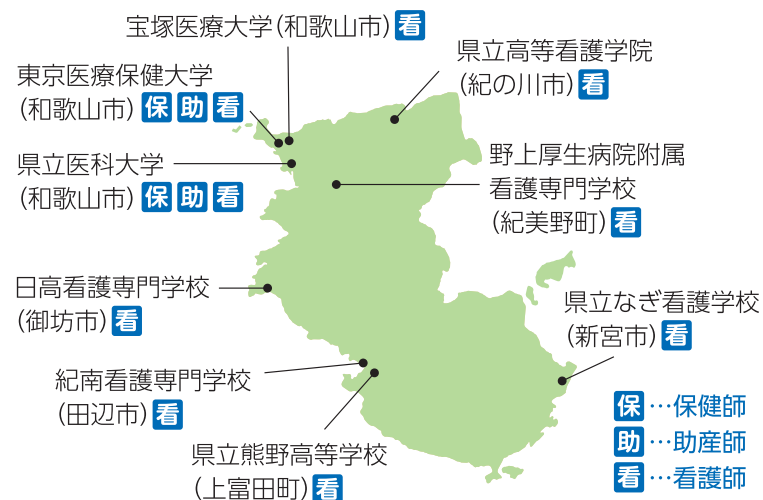


高校生向けイベント「ふれあい看護体験」



小学生向けイベント「ジュニアナーシングスクール」

看護師等学校養成所一覧



県立なぎ看護学校 3年生 濱田 歩未 さん



地元の診療所で働く看護師さんを見て、患者さんに優しく寄り添ったり医師と連携する姿に魅了され、看護師を志すようになりました。

人の役に立ち、社会に貢献できるだけでなく、患者さんと向き合う中で自分も成長し続けられることが、看護師の仕事の大きな魅力だと思います。

「患者さんの立場になること」を忘れず行動する、そんな看護師になるのが目標です。

チーム医療で活躍するさまざまな医療職

言語聴覚士 言葉やきこえ、飲み込みの機能の回復を支援	臨床工学技士 命をつなぐ高度な医療機器を管理・操作	看護師 診療の補助や患者のケアを担当	医師 病気やけがを診断・治療
作業療法士 生活の活動を通じて身体機能と心の回復を支援	管理栄養士 治療効果を高めるため、患者個々の栄養状態を管理・指導	薬剤師 薬の調剤や服薬指導を行い、薬が安全に使用されるよう管理	
理学療法士 歩く、座るなどの動作の維持・回復を図り、自立を支援	診療放射線技師 レントゲン・CT・MRI検査や放射線治療で診療を補助	臨床検査技師 血液や細菌検査、心電図や超音波検査で診断を補助	

県内の養成施設でめざせる職種

- 県立医科大学(和歌山市) 医師、薬剤師
- 宝塚医療大学(和歌山市) 理学療法士、作業療法士
- 和歌山リハビリテーション専門職大学(和歌山市) ... 理学療法士、作業療法士
- 近畿大学生物理工学部(紀の川市) 臨床工学技士
- 県歯科衛生士専門学校(和歌山市) 歯科衛生士
- 和歌山医療スポーツ専門学校(有田市) 柔道整復師

※看護師等の養成施設は3ページで紹介

各施設の詳細はこちら▶



多様な医療人材の確保

医療の高度化・専門化が進む今、複数の医療職が連携して患者の治療やケアを行う「チーム医療」の重要性が高まっています。それぞれの職種が必要不可欠な存在であり、多様な医療人材の確保

がますます必要となっています。県では、人材確保のためにこれまで医療職養成施設の誘致を行っており、それぞれの施設から多くの人材が育成・輩出されています。